

■牛島満 沖繩戦指揮し玉砕自決。のち、アメリカの軍事評論家から、日本陸軍の名将と高く評価される。

うしじまみつる

国民之友始・1887＝ 東京で、旧薩摩藩士で近衛連隊付陸軍中尉牛島実満の三男に生まれる。父は誕生前に病死したため、母に連れられ兄らと郷里の鹿児島に移住。

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

Bushidou・・・1899＝12歳：小学校を卒業して、県立第一中学校に入学したが、
ピア国産化・1900＝13歳：熊本地方陸軍幼年学校に合格して、軍人としてのスタートを切り、

日露戦争終・1905＝18歳：
満鉄発足・・・1906＝19歳：陸軍士官学校に入学し、

アヲヲイ創刊・1908＝21歳：恩賜の銀時計を受けて、卒業。

明治天皇没・1912＝25歳：

第一次大戦始1914＝27歳：

民本主義・・・1916＝29歳：陸軍大学校を卒業。

本格政党内閣1918＝31歳：シベリア出兵に、野戦鉄道司令部参謀として従軍し、その功で功五級金鷲勲章。陸軍大尉。
陸軍歩兵学校教官となり、

大暴落・・・1920＝33歳：結婚し、

原敬首相暗殺1921＝34歳：歩兵第三連隊の大隊長を経て、

関東大震災・1923＝36歳：

護憲三派圧勝1924＝37歳：陸軍少佐。

治安維持法・1925＝38歳：各教育機関への配属将校制度が設置されると、母校の鹿児島県立第一鹿児島中学に配属される。

この間、軍事教官としての心構え等を身に付け、

満州事変・・・1931＝44歳：

五一五事件・1932＝45歳：陸軍大佐。戸山学校教育部長。

国際連盟脱退1933＝46歳：新聞辞令で、陸軍省高級副官。以後、派閥争いを超えて、3代の陸相に仕える。

二二六事件・1936＝49歳：二二六事件が起きると、首謀者らが属していた歩兵第一連隊長に任じられるほど信頼され、

日中戦争始・1937＝50歳：*陸軍少将に昇進し、郷里鹿児島第六師団歩兵第36旅団長となった直後、日中戦争が始まり、最強部隊として、翌年末まで、中国各地で激戦。武漢攻略一番乗りを果たし、

第二次大戦始1939＝52歳：予科士官学校長兼戸山学校長。陸軍中将。*関東軍の土肥原賢二中将支配下の第11師団長となって、渡満。

大政翼賛会・1940＝53歳：武漢攻略の功で、功二級金鷲勲章、勲一等瑞宝章。独特の戦法で大成功を収め、

日米開戦・・・1941＝54歳：*最強軍団に育て上げた後、陸軍唯一の総合的な訓練実施学校たる満州公主嶺戦車学校校長に転出、日米開戦の報を聞いて、トップの無謀さにあきれが、

・・・1942＝55歳：帰国すると、戦争拡大で早急に優秀な将校育成を求める大本営の意向で、陸軍士官学校長となる。

年金+総武装1944＝57歳：サイパン攻落などで戦局が行き詰まると、ついに、南西諸島防衛の最高指揮官第32軍司令官に任命され、

敗戦・・・1945＝58歳：*長参謀長という人材を得て、沖縄に出陣、アメリカ軍の上陸を受け、名コンビで指揮しながら、2ヵ月半耐えるも、全島玉砕に追い込まれ、陸軍大将昇進の報を受けた直後、自決した。